

原子力カマフラの巻きかえしを まき返し再稼働をとめよう！

安倍政権、それと連なる原子力マフィアは都議選で原発が争点になることを心底恐れ、露骨な情報隠しや報道統制をやってきました。二つの事実を紹介します。この事例は秘密保護法が施行（成立から一年以内）されたらどんな社会になるかを分かり易く示すものです。

私たちは得てして知らないことを「存在しないこと」と錯覚しがち。これがとても恐いです。市民ひとりのひとりの真実を



資源エネルギー庁がパブコメ(市民の意見)かくし

(経産省前テント広場の「テント日誌」より要旨)

経産省前テントひろば
八七日目 商業用原発
停止百二十九日目。

経産省前テントひろばでは、「エネルギー基本計画(※昨年十二月六日発表)に対する意見」パブコメ書きをすすめるとともに(※国は超短期間に市民の意見を求めた)、一月に三回、経産省と資

源エネルギー庁に対して、「エネルギー基本計画」に対する抗議行動と申入れをした。

ところが、資源エネルギー庁は、一月六日に締切ったパブコメ「エネルギー基本計画に対する意見」の結果をいまだに公表していない。既に他のパブコメ結果はアップされているのに。一万九千件のパブコメが出され、かつ反対意見が多かったはずだ。

脱原発が都知事選の重

要な争点になっている。

国民の関心も高い。だからこそ、テントひろばから資源エネルギー庁に何度電話しても、「今パブコメを精査中」「いつ公開できるか答えられない」の返事の繰り返し。資源エネルギー庁は都知事選が終わるまでパブコメ結果を隠しておくつもりのようなだ。安倍政権と官僚たちの作為・怠慢を許していけない。都知事選の重要な争点にするためにも、資源エネルギー庁にパブコメ結果を早く公表するように働きかけたい。

(レイバーネットML)

よの要旨を紹介)

NHK 脱原発の主張は報道拒否

次はNHKラジオ、朝七時前の番組「ビジネス展望」について。

一月三〇日に東洋大学経済学研究所の中北徹教授が、経済学の観点から脱原発を論じる予定原稿を用意していた。題して「原発再稼働のコストと事故リスク」(案)。しかし、NHKは「対立する主張を都議選の期間内に放送することは困難」との理由で中北氏に「テーマの変更」を要求。中北氏は断った。その朝、視聴者には理由もわからな

なった。NHKが拒絶した原稿は次のアンダーラインの部分。

「：現状では原発稼働がゼロ。しかし、そうしたなかで、アベノミクスが成果をあげている。：
：原発(稼働)ゼロでも、経済成長が実現できることを実証したといえる。

(略) 東京都知事選挙をきっかけに、千葉や神奈川県などの住民も：問題意識を高めていけるかが課題だ。「最後に強調したいのは、原発事故発生のリスクと、巨大地震が起きた際の損害額との関係(略)リスクである積の値を確実に

減らし、ゼロにできるのは、原発を止めることになるだろう。

一基の再稼働も認められません。秘密法も廃止!



2月6日の秘密法廃止！
ロックアクションには
7百人が参加し訴えました。



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！